

追悼のつどい

亡くなられた被害者に思いを馳せて



8月14日の日本軍「慰安婦」メモリアル・デーに、この1年間に訃報が届いた被害女性たちに思いを馳せ、お花を捧げる「追悼のつどい」をwamで始めてから4回目の夏を迎えます。今年は、新型コロナ感染の心配からオンラインでの開催も検討しました。しかし追悼の思いを共有するために、やはり集いたいと思いました。人数を限定し、これまでと同様にwam エントランスで行い、次号の『wam だより』でご報告します。

日時:2020年8月14日(金)12:00~13:00

場所:wam エントランス

- マスクをご着用ください。wam 館内は消毒と換気に努めます。
- 参加は15名(申込先着順)、wam 会員に限定させていただきます。
参加費は不要です。電話、メール等でお申し込みください。

逝去した女性たち (公開証言している方。カッコ内は追悼メッセージをくださる方)

フィリピン：フェリシダッド・デ・ロス・レイエスさん (澤田公伸さん)

インドネシア：スハルティさん (木村公一さん)、ジャヘランさん (鈴木隆史さん)

東ティモール：マダレーナ・デ・ジェススさん、パルミラ・パイシェコさん (松野明久さん)

豪・蘭：ジャン・ラフ・オハーンさん (ジャンさんが最期に朗読した詩と歌の録音をご遺族から提供していただく予定です<打診中>)

【日本軍「慰安婦」メモリアル・デーとは】

8月14日は、1991年に韓国の金学順さんが日本軍「慰安婦」被害者として初めて名乗り出た日です。戦争と戦後を生き抜いた女性たちが、自らの尊厳の回復を求めて闘った歴史を忘れないために、この日を「日本軍『慰安婦』メモリアル・デー」にしよう—2012年12月、台湾で開かれた第11回日本軍「慰安婦」問題解決アジア連帯会議で決まりました。韓国では2018年から公式の記念日として制定されています。

【お問い合わせ】アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F

Tel: 03-3202-4633 Fax: 03-3202-4634 E-mail: wam@wam-peace.org